

心臓カテーテル室 (f)

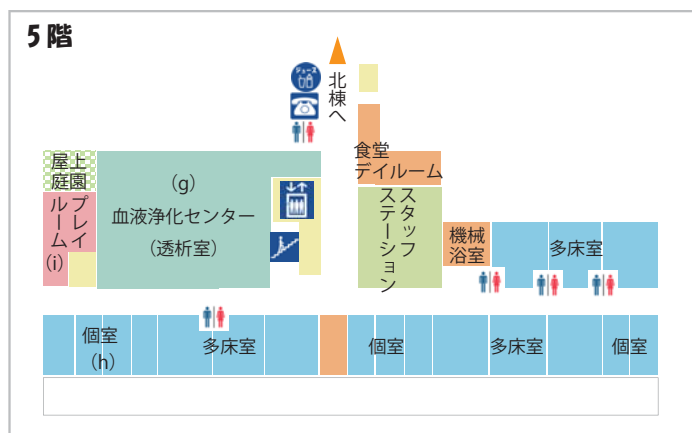
心臓カテーテル検査室は、心筋梗塞や狭心症などの冠動脈疾患や心不全等、多くの心疾患の検査治療に使用します。今回の新南棟の完成に伴い、同時二方向撮影が可能なPhilips社製のバイプレーン装置を導入いたしました。この新しい医療機器を導入したことで、より少量の造影剤使用で検査加療を行うことが可能となりました。

また、今回心カテ室の場所がICU・CCUの隣に移動したことにより、急性心筋梗塞の症例などで緊急カテーテル治療を行った後も、引き続きスムーズに集中治療を継続していけるようになりました。新たな環境となり、今後も診療の質の向上など、患者さんに安心して診療を受けていただけるよう努めてまいります。(循環器内科医長 高橋夏来)



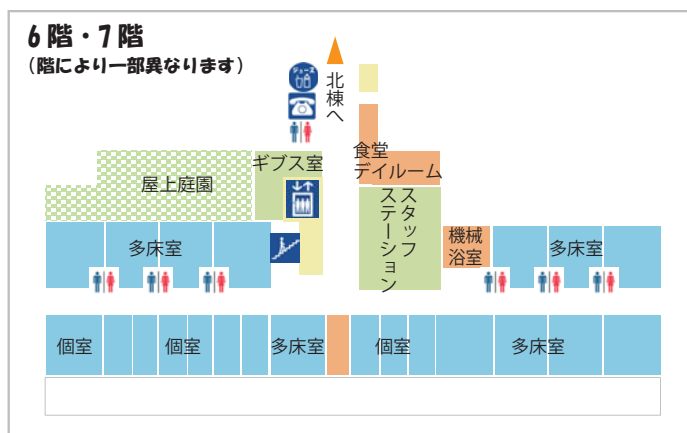
広がった心臓カテーテル室

5階



6階・7階

(階により一部異なります)



血液浄化センター (透析室) (g)



小児科個室 (h)



プレイルーム (i)



血液浄化センター (g)

以前より、皆様のご指導・ご協力のもと、松山市民病院透析室は、腎臓内科を中心に運営してまいりました。この度、新南棟5階に血液浄化センターが完成し、6月上旬に開所・引っ越しを実施いたしました。

透析技術の進歩、並びに、透析患者さんの高齢化・多種疾患の合併に対処すべく、取り組みを進めます。

5S病棟との連携の強化も図る予定で、スタッフの研修を開始しました。

透析ベッドは16床となります。感染症

罹患時の隔離透析の目的で個室を一部屋用意しました。この個室は、腹膜透析患者さんの外来受診、カテーテル交換にも使用し、血液透析と腹膜透析を一体で実施する体制とします。

本年9月1日からはon line HDFを開始する予定としております。

CKDのステージ1から5までの一貫した腎疾患加療を目指して、努力してまいりますので、よろしくお願いたします。(血液浄化センター長/腎臓内科部長 関川孝司)



新しく導入された透析機器